

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習に意欲的に取り組む児童が多い。 ・自分の考えを話すことにやや消極的である。 ・文章や資料から必要な情報を読み取って文章の全体像をつかみ、それを基に考えたり、表現したりする力を高める必要がある。 ・文法、文字や語句、漢字の定着に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き音読練習に取り組みせ、内容を深く理解したり、語彙力や表現力を高めたりする。 ・友達と交流する機会を多く設け、自分の考えを話したり、聴いてもらったりすることの楽しさを味わわせる。 ・文章におけるキーワードをつかみ、キーワードをつなげて考えたり、内容を短い字数でまとめたりする。 ・書くことを習慣付けるとともに、推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。 ・文字や語句、漢字、文法のプリント等を活用して理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読を毎日行ったことで、音読が上手になり、内容を理解して授業に参加することができた。 ○友達と交流することで、自分の考えを深めたり、新しい考えを元に再考したりしていた。 ○書く活動を多く取り入れたことで、構成を考えたり、文章を要約したりする力がついた。 ○漢字学習への意欲が高まり、正しく使えるようになってきた。 △自分の考えを積極的に話させ、対話を更に充実させていく。 △語彙、文法の習得については個人差が見られるので、今後も個別に指導を工夫する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設を調べたり、水の実験をしたりといった体験学習に意欲的に取り組む。 ・調べたことを新聞やポスターにまとめる活動を好む児童が多い。 ・映像資料を好む。地図、グラフ、表、文章から情報を読んだり、複数の資料を照らし合わせながら考えたりする力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を身近なものとして捉えられるような問いや学習課題を設定して、児童が自分事として考えられるようにする。 ・学習をまとめた作品を掲示して見合うことで、表現力を高める。 ・地図を見る活動を多く取り入れる。また、資料から情報を選択、整理するための視点（単位、正誤、比較など）を与え、資料を読む活動を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な内容が多かったことで、自ら学習問題を見付け興味をもって調べることができた。 ○資料を効果的に活用し、ポスターや新聞を作りすることができた。 ○発表を交流することで、学びを深めた。 △地図や資料を読み、活用する力には個人差が見られるので、ICT機器を活用するなど、今後工夫したい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別に学習することで、一人一人に合った学習ができています。 ・既習事項を生かして問題解決に取り組んでいる児童と、そうでない児童がいる。また、コンパス、分度器などの活用が十分でない。 ・自分の考えをノートに書けるようになってきたが、友達に分かりやすく説明する力を高める必要がある。 ・数量感覚を身に付けたり、文章問題を読んで場面を把握したりする力を伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けやきタイムなどに、東京ベーシックドリルの練習プリントに繰り返し取り組み、基礎基本の定着を図る。三角定規、分度器、コンパスを、日常的に使うようにする。 ・考えをノートに書いたり、説明したりする経験を数多く積めるようにする。 ・友達と話し合う対話的な活動を取り入れることで、分かりやすく説明できるようにする。 ・図や数直線に表して考えさせることで、場面を整理し、立式につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の流れをいつも同じにしたことで、見通しをもって学習に取り組むことができた。 ○東京ベーシックドリルでの練習を繰り返し行うことで、基礎基本が定着するようになってきた。 △場面を図や数直線、言葉で的確に表せるように指導するための時間を引き続き確保していく。 △計算力、文章問題の理解、コンパスなどの道具の活用については個人差があるため、個別に支援・助言する。

理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に、意欲的に取り組む。 ・実験や観察のねらいをつかめていない児童がいる。「電気」についての学習では、回路を作れなかったり、実験が上手くいかない原因を見つけられなかったりする児童がいた。 ・実験や観察の結果から考察し、身近な出来事と結びつけて考える力を伸ばす必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を身近なものとして考えられるよう、実験や観察と実体験を結び付けて考えるよう指導する。 ・問題意識をもち、予想→実験・観察→結果のまとめ→考察の流れで繰り返し学習できるようにする。上手くいかなかった実験事例などを取り上げて、その原因を考えるようにする。 ・根拠のある予想を立てる指導を重視する。考察の場面では、実験によって自分の予想を確かめることができたかという視点で、結果から分かることをノートに書くよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの生活経験と結びつけて、意欲的に学習することができた。 ○課題把握→予想→実験・観察→結果→考察の流れに沿って学習することが身に付いた。 ○前の実験を生かして考えたり、ノートに記録したりすることができるようになってきた。 △実験の目的を更に明確にして、結果から考察し、表現できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に取り組んでいる。 ・チームやグループで運動することで、アドバイスし合って運動するようになってきた。 ・できないこと、苦手なことに対し、どのようにしたらできるようになるかを思考・判断する力を伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、見通しをもって本時の学習に取り組めるようにする。 ・友達と学び合う場を設定することで、友達のよさに気づき、自己の運動の改善につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育カードにめあてを自分で設定して、意欲的に運動した。また、めあてに沿って振り返り、次の目標を立てていた。 ○友達の動きに注目し、良さを認め合う様子が見られた。 △運動の動きを具体的に思考し、判断して行動するには課題がある。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌う、楽器の演奏は進んで行うが、リズムにのって演奏することが苦手である。 ・運動会の応援の声と歌の音が歌い分けられない児童がいる。 ・一生懸命発表をするが、姿勢や声の出し方などなかなかおらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器やリズムボックスを用いて、いろいろなリズム体験をさせる。 ・ペア学習やグループにより自分の声と友達の声を聴き比べる。 ・発表の様子の感想を書かせ、自己評価と相互評価をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> △自分が考えたリズムを発表することができるが、曲の流れに乗ってリズムを唱えることは苦手な児童が多かった。 ○ペア練習で教え合いながらリコーダー学習を進める児童が増えた。 ○学習プリントを基に、班長が中心となってお互い教え合いながら学習を進める班が出てきた。
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しがもてない。 ・途中までつくったけれど自分の思い通りにならないとあきらめがちである。 ・既習事項を生かして表現できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。 ・計画的な造形体験を積み重ね、技能の定着を図る。 ・表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者や友達と考えながらつくることで、同じ材料でも新しい形が作れる経験をすることができた。 ○布や針金など多様な材料の使用法を経験することができた。 ○既習内容の振り返りを導入時に行うことで、表したいものに応じて経験した技法を選択できる児童の姿が見られた。